



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

令和8年2月1日発行

No.46

人間を救うのは、人間だ。

赤十字とやま

モンゴル赤十字社 ユースメンバー来県



富山県のJRCメンバーとの交流会 (10/26)



射北中学校で防災セミナー受講 (10/28)



高岡向陵高校で部活動体験 (10/28)



珠洲市役所の職員から、今日までの対応を聞きました (10/29)

日本赤十字社では、青少年赤十字の実践目標の一つである「国際理解・親善」を図るため、2年ごとにアジア・大洋州などの赤十字姉妹社からメンバーを2名ずつ招聘しています。

今回は20の国と地域から40名のユースメンバーが来日し、その内モンゴルからのメンバー2名とモンゴル赤十字社のユース担当職員合わせて3名が10月25日から10月30日までの6日間、富山県を訪問しました。

ウランバートル在住の大学生バートラさん(18才)、高校生ツェルムニさん(15才)、ガンゾさん(26才)はモンゴル社ユースのユニフォーム姿で富山駅に到着しました。

富山県を訪問中、青少年赤十字加盟校の射水市立射北中学校では2年生のクラスで「赤十字防災セミナー」を生徒と一緒に受講したり、高岡向陵高校ではeスポーツ部、

相撲部、レスリング部で日本の部活動を体験したりしました。

「せっかく富山に来たがやし」と、回転寿司やブラックラーメンをランチに選んだところ、モンゴルでは生の魚はほとんど食べないそうですが、とてもおいしいと10皿以上を平らげ、また、ラーメンのスープまで飲み干していました。

県内高校生との交流会では、各自の青少年赤十字活動の紹介や、気候変動、人道危機について議論するなど交流を深めました。また、能登半島地震の爪痕が残る伏木地区や氷見市の視察、そして石川県の輪島市と珠洲市を訪問し、災害対応にあたった各市役所の職員から、発災当時から今に至る市の様子を聞くことができました。

短い期間でしたが、充実した富山訪問の後、5日間に及ぶ東京での国際ミーティングプログラムを終え、11月3日に無事モンゴルへ帰国しました。

富山赤十字病院

心臓外科手術の進歩

富山赤十字病院 心臓血管外科
牛島 輝明

心臓は「命の源」と呼ばれ、24時間休むことなく拍動し、全身に血液を送り続けています。古代ギリシャの哲学者アリストテレスは「神の宿る心臓だけは傷つけてはならない」と語っており、長い間、心臓にメスを入れることは禁忌とされてきました。これは、心臓が常に動き続けていること、そして単純に切開すると大出血を起こし、全身への血液循環が止まってしまうためです。

本格的な心臓外科手術が始まったのは、戦後の1940年代です。心筋保護液で心臓を一時的に止め、人工心肺装置で全身に血液を送る現在の手術法が確立したのは1970年代になってからです。歴史の浅い心臓外科手術ですが、その後、急速に進歩し、安全性も大きく向上しました。かつては生死を分ける大手術でしたが、現在では予定手術の死亡率は全国平均で1～2%と、飛躍的に改善されています。

2000年頃からは、身体への負担を軽減する「低侵襲手術」が導入されました。たとえば、狭心症に対しては、心臓を動かしたまま行う「オフポンプ手術（心拍動下冠動脈バイパス手術）」があり、弁膜

症に対しては、胸骨を切らずに肋骨の間から小さな切開で行う「MICS（低侵襲心臓手術）」が行われています。当院でも、これらの手術を積極的に取り入れています。

当院の心臓血管外科は、竹村博文院長、私、池田真浩部長を含む心臓血管外科専門医3名と、黒阪幸輝医師の4名体制で診療にあたっています。また、循環器内科の医師4名とも密に連携し、ハートチームとして患者さま一人ひとりに最適な治療方針を検討しています。

私たちは、「命の源」である心臓の病気に対して、皆さまの健康寿命を延ばし、元気に日々を過ごしていただけるよう、最善の治療を提供することを使命としています。



当院ハートチーム

富山県立乳児院

防犯講習を実施しました



乳児院では、「いざという時」のため、火災や災害訓練を毎月実施していますが、昨今、社会福祉施設等の痛ましい事件をよく耳にします。

そこで今回は、富山中央警察署の方をお招きし実際に「110番通報」し、警察からの状況確認の応答訓練や、不審者が来た場合の対応方法について講習を行いました。

今後も「子どもたちの安全」を守るため、訓練を継続し防犯に努めたいと思います。

日本赤十字社富山県支部

2025年大阪・関西万博開幕

～来るべき令和9年日赤創立150周年に想いを込めて～



▲開幕1週間前は連日、大混雑



▲東日本大震災時、「すべての患者を受け入れる」という決意のもと、24時間掲げられ続け擦り切れた石巻赤十字病院の旗を撮影する人



▲パビリオン外壁の撮影も人気

184日間に及ぶ大阪・関西万博が、10月13日閉幕しました。赤十字パビリオン（国際赤十字・赤新月運動館）は一時も閉館することなく、赤十字運動への理解・共感と、パビリオンコンセプトの「私の“できる”は、誰かのためになる。」のとおり、一步を踏み出すきっかけを多くの方々に提供することができました。

総来館者数は31万人、赤十字特設 WEB サイトへの訪問者も150万人に上り、更には SNS 上でも多くの人々から赤十字パビリオンへの感動・共感の思い、感想が世界中

に拡散されました。多くのメディアでも取り上げられ、この万博を通じて人道の輪が確実に広がっていったように思います。

また、この万博には全国から1,200人以上の職員・ボランティアがスタッフとして参加しており、富山県支部・施設からも3名が参加。最後まで大過なくオール日赤でパビリオンを運営することができました。この場をお借りして、ご支援いただいたすべての皆さま、そしてご来館された皆さまに感謝と御礼を申し上げます。

富山県赤十字血液センター

バレンタイン献血キャンペーンを実施します！

富山駅前のマリエとやま 6 階にあるマリエ献血ルームでは、令和8年2月8日(日)～2月14日(土)まで、バレンタイン献血キャンペーンを開催します。献血にご協力いただいた方へ『お菓子』をプレゼントいたします。

冬の時期は献血される方が減る傾向にあり、特に平日は、献血される方が少なくなります。継続的な献血へのご協力をお願いします。

ご予約は
ラブラッドから



講習会のお知らせ

■ 救急法基礎講習：1日コース

心肺蘇生やAEDを用いた電気ショックなどが学べます。

2/5(木)	県総合体育センター 9:00～17:00
3/21(土)	日赤富山県支部 9:00～17:00

■ 救急法救急員養成講習：2日間コース

急病の手当、けがの手当、搬送などが学べます。

2/12(木)～13(金)	県総合体育センター 9:00～17:00
3/28(土)～29(日)	日赤富山県支部 9:00～17:00

■ 幼児安全法支援員養成講習：2日間コース

子どもに起こりやすい事故の予防と手当、子どもの病気への対応などが学べます。

3/7(土)～8(日)	日赤富山県支部 9:00～17:00
-------------	--------------------

指導員派遣

原則無料

- 電話で、開催希望日時・希望内容・受講者人数・会場をお知らせ下さい。
- 派遣は、受講者が10名以上の場合とさせていただきます。
- 指導員の手配や資材の数に限りがあるため、ご希望に添えない場合があります。



受講のお申し込みやお問い合わせ先
日本赤十字社富山県支部 事業推進課
TEL 076-451-7878
<https://www.jrc.or.jp/chapter/toyama/study/>
(ホームページから申し込みができます)

街頭献血のお知らせ

★お昼時間は受付をお休みします。
★日程は都合により変更することがあります。

2月

1日(日)	イオンモールとなみ	9:00～12:00	13:20～16:00
	アル・プラザ小杉	10:00～12:00	13:15～16:00
7日(土)	イオンモール高岡	10:00～12:00	13:15～16:30
8日(日)	ファボーレ		
8日(日)	アップルヒル	9:30～12:00	13:15～16:00
11日(水)	イオンモール高岡	10:00～12:00	13:15～16:30
14日(土)	イオンモール高岡		
15日(日)	ファボーレ		
22日(日)	ファボーレ		
28日(土)	イオンモール高岡		

3月

1日(日)	ファボーレ	10:00～12:00	13:15～16:30
8日(日)	イオンモール高岡		
8日(日)	アピタ富山東	9:30～12:00	13:15～16:00
14日(土)	イオンモール高岡	10:00～12:00	13:15～16:30
15日(日)	ファボーレ		
21日(土)	イオンモール高岡		
22日(日)	ファボーレ		
28日(土)	イオンモール高岡		
29日(日)	ハッピータウン氷見店	9:30～16:00	

◆ 上記以外の献血会場

マリエ献血ルーム

富山市桜町1-1-61 マリエとやま6F TEL 076-445-4500
受付時間は、成分献血10:00～12:00 14:00～17:00
全血献血10:00～12:30 14:00～18:00



支援型自動販売機設置のお願い

売上げ(収益)の一部が赤十字活動資金として寄付される「支援型自動販売機」設置のご協力をいただける法人を募集しております。



澤田グループでの自販機の設置 (R7.11)

ご検討の際は、日赤富山県支部にご連絡ください。
取扱業者からご担当者様にご連絡いたします。

献血はラブラッドアプリをご利用ください！



献血カード・献血手帳の発行・更新は、令和8年1月4日(日)をもって終了させていただくこととなりました。

ラブラッドアプリは、献血予約も、事前に問診回答の入力も行えます。

是非、献血される際はラブラッドアプリのご利用をお願いします。

なお、アプリをお持ちでなくても献血の受付は可能です。

ラブラッドアプリのダウンロードは
こちらから



日本赤十字社 富山県支部
Japanese Red Cross Society

〒930-0821 富山市飯野26-1
TEL:076-451-7878 FAX:076-451-6872
URL <https://www.jrc.or.jp/chapter/toyama/>

